

幼稚園だより

ちよだ



3月号

令和 7 年 2 月 28 日
千代田区立千代田幼稚園
園長 須藤 敏之

優しい心を育む誕生会

園長 須藤 敏之

極寒の2月が急ぎ足で去り、春の訪れを感じる季節となりました。早いもので、令和6年度も残りわずかとなりました。残りの日々を、子どもたちとともに大切に過ごしてまいります。

さて、昨年4月の始業式と入園式で初めて出会った子どもたちは、新米園長（私）をじっと見つめて、どう反応してよいのか困惑した表情を見せていました。私が「おはようございます！」と挨拶をすると、目をキラキラ輝かせながら「おはようございます！」と元気に挨拶を返してくれて、とても嬉しかったことを覚えています。さらに、3歳児ばら組・4歳児さくら組・5歳児すみれ組のほとんどの子どもたちがきちんと椅子に座って行儀よく私の話を聞いていた姿にも感じました。これからの園生活でどのように成長していくのか、とても楽しみに became.

本園の1年間には、日々の遊びや運動、栽培などの他、「こどもの日の集い」や「獅子舞鑑賞」、「華道体験」や「お茶会」などの季節的・伝統的行事など、様々な行事があります。また、「親子運動日」や「子ども会」などの体育的・学芸的行事もあります。子どもたちは、どの活動や行事にも常に楽しそうに取り組み、熱心な教職員の支援や励ましを得ながら、ばら組さんは一人でできることが増え、さくら組さんは自分の思いが表現できるようになり、すみれ組さんは友達や3・4歳児を優しく手助けできるようになるなど、それぞれ大きく成長してきました。本園の子どもたちは、全体的に穏やかで人に優しい子どもに育っていると感じます。その優しさを育てている活動や行事は種々ありますが、私は毎月行われている「誕生会」が最も大きいと感じています。

本園の誕生会は、すみれ組さんが司会進行を務め、誕生日を迎える子を全員でお祝いします。誕生日の歌を歌い、一人ずつプレゼントが手渡された後、保護者の方から言葉のプレゼントが贈られます。ばら組・さくら組さんには、お家の方からのビデオレターが映し出され、名前の由来や生まれた頃の様子などを話していただいています。すみれ組さんには、お家の方に来園していただき、本人の前で、名前の由来や将来育ってほしい姿などを話していただいています。それを見聞きした時の子どもたちの嬉しそうで幸せいっぱいな表情から、愛され大切にされている喜びが手に取るように伝わってきて、見ている子どもも大人もとっても幸せな気持ちになります。誕生会は子どもたちの自尊心を高め、豊かで優しい心を育む最も大切な行事の一つとなっています。

誕生会や親子運動日をはじめ、この1年間、保護者やPTA役員の皆様、地域の皆様、ゲストとして来園された皆様方には、子どもたちの成長と幸せのために多大なるご尽力を賜りました。

心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



千代田幼稚園のホームページもご覧ください